

開館20周年記念特別展

井上ひさしの 劇列車II

2019年12月14日(土)～2020年4月5日(日)

会場／仙台文学館 企画展示室

休館日／月曜日(祝・休日は開館)、祝・休日の翌日(土・祝・休日は開館)、

第4木曜日(12月26日は開館)、12月28日(土)～1月4日(土)

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料／一般800円、高校生460円、小・中学生230円(各種割引あり)

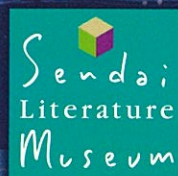
主催：仙台文学館

協力：井上事務所、こまつ座、遼筆堂文庫

後援：朝日新聞仙台総局、河北新報社、産経新聞社東北総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局

共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、MFM 仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送

三ツツテレビ、KHB東北放送、エフエム仙台



(公財) 仙台市市民文化事業団

仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1

TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044

<https://www.sendai-lit.jp>

仙台文学館は 開館20周年を迎えました。 当館の初代館長をつとめた井上ひさしの 特別展第二弾を開催します。

劇作家・小説家の井上ひさしは、作家や文人たちの生涯を一本の戯曲に仕立てる「評伝劇」を、数多く書き残しました。とことん調べ抜いた史実に、大胆な趣向を加えて再構成した作家の人生。そこに、ことば遊び・パロディ・歌・踊り・どんでん返しなど、さまざまな仕掛けをほどこし、ユーモアをまじえて書いた評伝劇は、多くの観客を楽しませています。

井上ひさしの評伝劇をテーマに開催する本展では、展示室の空間を「劇列車」に見立てます。Ⅱ期では、新たに魯迅、吉野作造などを加え、舞台の大道具のような車内に、評伝劇の直筆原稿やプロット、創作メモ、執筆にあたって読み込んだ書籍など、多くの資料を展示します。井上評伝劇に登場する人びとの生涯と、彼らに対する井上ひさしの深い敬愛を、展示室で感じてください。

空間デザイン：大沢佐智子（舞台美術家）



展示で取りあげる作品の主人公（カッコ内は戯曲のタイトル）

- 宮澤賢治（「イーハトーボの劇列車」）
- 樋口一葉（「頭痛肩こり樋口一葉」）
- 太宰治（「人間合格」）
- 林芙美子（「太鼓たたいて笛ふいて」）
- 小林多喜二（「組曲虐殺」）
- 魯迅（「シャンハイムーン」）
- 河竹黙阿彌（「黙阿彌オペラ」）
- 吉野作造（「兄おとうと」）
- チェーホフ（「ロマンス」）

※内容は一部変更になる場合があります。



こまつ座&世田谷パブリックシアター「シャンハイムーン」
（こまつ座提供 撮影：細野晋司）



こまつ座第105回公演「兄おとうと」
（こまつ座提供 撮影：谷古宇正彦）



井上ひさし旧蔵書
「校本 宮澤賢治全集」
（遼寧堂文庫蔵）
「イーハトーボの劇列車」執筆にあたって読み込んだ全集の一部。ふせんが多数貼られている。

展示関連イベント（Ⅱ期）

※会場はすべて仙台文学館講習室

①アーサー・ビナード講演会「ひさしと暮せば」

- 出演：アーサー・ビナード（詩人）
- 日時：12月21日（土）13:30～15:00
- 定員：100名（抽選）

※会期中の特別展観覧券の半券が必要です。



②渡辺えり講演会「井上ひさしと劇作家協会」

- 出演：渡辺えり（劇作家・演出家・俳優）
- 日時：2月2日（日）16:00～17:00
- 定員：100名（抽選）

※会期中の特別展観覧券の半券が必要です。



③トークイベント「演出家と語る 井上戯曲のこれから」

- 出演：上村聡史（演出家）・永山智行（演出家・劇団こぶく劇場代表）
- 聞き手：山口宏子（朝日新聞記者）
- 日時：3月15日（日）13:30～15:00
- 定員：100名（抽選）※会期中の特別展観覧券の半券が必要です。

イベントの 申込み方法

往復はがきに、イベント名、お名前、住所、電話番号を明記の上、仙台文学館へ。締切りは①12月10日（火）②1月17日（金）③2月27日（木）それぞれ必着。はがき1枚につき1イベント1人の申込み。応募多数の場合は抽選。
※いただいた個人情報は上記イベントのご連絡以外に使用しません。

◆学芸員によるピンポイント資料解説

- 日時：1月25日（土）、2月16日（日）、3月1日（日）各日11:00～11:30
- 申込み不要、直接会場へ ※当日の特別展観覧券が必要です。

交通のご案内

バス利用の場合

《いずれも「北根二丁目・文学館前」下車》
○宮城交通バス
仙台駅西口バスプール2～4、6番乗り場 仙台北・泉地区方面行（急行・北山トンネル経由を除く）
○市営バス
仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行

地下鉄利用の場合

南北線「台原駅」下車、徒歩約25分
（台原森林公園内あかまつの道経由）

駐車場40台（無料）

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



（公財）仙台市市民文化事業団

仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
<https://www.sendai-lit.jp>

仙台文学館 ～今後の展覧会～

企画展「生誕120年 佐佐木俊郎展」(仮)

2020年4月25日（土）～6月28日（日）

2019年4月、常設展示室をリニューアルしました。
あわせてご覧ください。

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。